

業務の実績評価基準等について

○法人から業務の実績及び自己評価について、業務実績報告書（概要版、特に詳細な説明が必要な部分については本書）により説明があります。

【参考】（「年度評価に係る実施要領」より）

・業務実績報告書

できる限り具体的かつ定量的に記載するとともに、特色ある取組、法人運営や事業実施に当たって工夫したこと、今後の課題等を記載する。

・法人の自己評価に係る基準≪小項目評価≫

・年度計画より大幅に上回って実施している	→ 5
・年度計画より上回って実施している	→ 4
・年度計画どおり実施している	→ 3
・年度計画より下回っている	→ 2
・年度計画より大幅に下回っている、 又は実施していない	→ 1

○各項目について、委員の皆様からいただいたご意見を考慮し、後日市で評価を決定します。

【参考】（「年度評価に係る実施要領」より）

- ・市は評価にあたって、法人の目標値や前年度実績値と当該年度実績値との比較だけでなく、計画を達成するための取組等についても考慮し、総合的に評価する。
- ・市の評価基準…小項目については法人の自己評価に係る基準と同様
大項目評価については、次の基準により評価

・中期計画の実現に向けて著しく進捗している、又は大幅に超える成果を出している （全ての小項目評価が3～5で、特に認める場合）	→ S
・中期計画の実現に向けて順調に進捗している （全ての小項目評価が3～5の場合）	→ A
・中期計画の実現に向けておおむね順調に進捗している （小項目評価における3～5の割合が概ね9割以上）	→ B
・中期計画の実現のためにはやや遅れている （小項目評価における3～5の割合が概ね9割未満）	→ C
・中期計画の実現のためには大幅に遅れている （小項目評価における3～5の割合が概ね9割未満で、特に認める場合）	→ D

- ・市の全体評価については、小項目及び大項目の評価が決定後、これらの評価を踏まえ、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況について総合的な評価を記述式で行います。
（全体評価については後日改めて説明いたします。）